

請 願 文 書 表

12月定例羽生市議会

受理番号	受理年月日	件 名	要 旨	提 出 者	委員会
請 願 第3号	R05.11.17	羽生市立西中学校 剣道部等の存続等 に関する請願	<p>羽生市立西中学校では、令和5年4月から剣道部、野球部、女子バスケットボール部が部員募集停止・休部となっている。この決定に至るまでに競技団体や広範囲の関係者に対して説明や意見聴取がなく、議論が尽くされたとは言い難いため、改めて競技団体等の意見を反映できる体制整備が必要である。ついては、この決定は時期尚早であり部員募集停止・休部は撤回すべきと考える。</p> <p>部員募集停止・休部の理由として、西中学校及び羽生市教育委員会は、生徒数の減少に伴う教員の減員により部活動顧問が確保できないとのことである。今後の部活動の地域移行等の課題に対応するためにも、競技団体等との協議や情報共有を図るとともに、部活動顧問を補完する意味においても部活動指導員制度の導入が必要であると考える。</p> <p>ついては、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも 元気で楽しくスポーツに親しめるまち」を目指している羽生市としては、未来ある小中学生に対し、大人の都合でその競技への扉を閉じるのではなく、皆で知恵を絞り多くの選択肢が提示できるよう邁進いただきたく、下記事項を請願する。なお、この件については、署名活動を行い、2千名を超える多数の賛同を得ていることを申し添える。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 剣道部などの部員募集停止・休部の撤回すること。 2 休部・廃部の基準の策定は、保護者、関係競技団体等広範囲の意見を反映できる体制を整備すること。 3 部活動顧問不足に鑑み、部活動指導員制度の導入すること。また、制度導入に対する予算措置をすること。 4 部活動の地域移行等の課題を踏まえ、学校と関係競技団体等との協議・情報共有を図ること。 	埼玉県羽生市桑崎 1350番地 羽生市剣道連盟 会長 清水 親夫	総務文教 委 員 会